

3—2. 施工管理

ランブルストリップスの出来形については、溝の形、大きさにより発生する振動と音の効果が変わるほか、設置後の道路景観等にも配慮し、適切な施工管理を行い、出来形と品質規格を確保するものとする。

なお、施工規格値の変更や既設舗装の不陸、湿潤・凍結路面等の施工環境により本ガイドライン（案）で示している管理基準を適応し難い場合は、発注者と受注者の協議のうえ、適切な施工管理を行うことが望ましい。

解 説

ランブルストリップスの出来形については、第2章の規格値に対して、表3-1～4の管理基準を定めるものとする。施工者は、この表に示す測定項目および測定基準により実測し、設計値と実測値を対比して記録した出来形表または出来形図を作成し管理するものとする。

なお、道路構造や沿道周辺環境により本ガイドライン（案）で提示した規格値を変更する場合や既設区画線の厚さ、既設舗装の不陸や湿潤・凍結路面等の路面状況、降雪等の天候状況により、良好な施工環境が確保できない場合は、発注者と受注者の協議のうえ、適切な施工管理を行うものとする。

■センターライン（黄色2条線）に設置する規格■

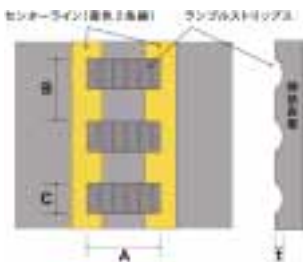


表 3-1. ランブルストリップス寸法 単位：mm

項 目	規格値	許容値	測定方法
切削横幅 A	350	±10	前・後の平均値
切削ピッチ B	300	±30	左・右の平均値
切削縦幅 C	150	±30	左・右の平均値
深 さ t	12	±4	左・右の平均値

■センターライン（黄色1条線）に設置する規格■



表 3-2. ランブルストリップス寸法 単位：mm

項 目	規格値	許容値	測定方法
切削横幅 A	150	±10	前・後の平均値
切削ピッチ B	300	±30	左・右の平均値
切削縦幅 C	170	±30	左・右の平均値
深 さ t	15	±4	左・右の平均値